English translations of the surrounded parts by the red line on Japanese examined patent publication No. 51-34544

(Bibliographical data and Claims)

- (11) Patent Publication No. 51-34544
- (44) Date of publication of Patent: September 27, 1976
- (54) Title of the Invention: CONTINUOUS FILAMENT WINDER
- (21) Application No. 45-86786
- (22) Date of Filing: October 3, 1970
- (72) Inventor: Yoshio IKEGAMI

 12-79-108, Edagawa-cho, Nishinomiya-shi,

 Hyogo, Japan
- (71) Applicant: KOBE STEEL, LTD.

 1-36-1, Wakinohama-cho, Fukiai-ku,

 Kobe-shi, Hyogo, Japan
- (74) Agent: Toshio YASUDA (Patent Attorney)

(57) CLAIMS

1. A winder for continuously winding a filamentary material on a pair of bobbins each rotatably supported on both sides by paired shafts one of which is provided with a rotary cover capable of rotating co-jointly with the bobbin and movable along the same shaft, wherein, when a working bobbin stops being full of turns of a filament thereon and shifts to another empty bobbin, said rotary cover rotates in the same direction and at the same rotation speed with the full bobbin to cover said

bobbin and hold a cut end of the filament therein and the winding of the filament is shifted to the other empty bobbin.

- 2. A winder for continuously winding a filamentary material on a pair of bobbins each rotatably supported on both sides by paired shafts one of which is provided with a rotary cover capable of rotating co-jointly with the bobbin and movable along the same shaft and has a filament-hooking catcher attached to a peripheral part thereof and is movable co-jointly with axial movement of the cover to touch with and separate from an edge of the cover, wherein, when a working bobbin stops being full of turns of a filament thereon and shifts to an empty bobbin, said rotary cover rotates in the same direction and at the same rotation speed with the full bobbin to cover said bobbin and hold a cut end of the filament therein and the winding of the filament is shifted to the other empty bobbin.
- 3. A winder for continuously winding a filamentary material on a pair of bobbins each rotatably supported on both sides by paired shafts one of which is provided with a rotary cover capable of rotating co-jointly with the bobbin and movable along the same shaft and which has a filament-hooking catcher attached to a peripheral part thereof and is movable co-jointly with axial movement of the cover to touch with and separate from an edge of the cover and which is also provided with a jet nozzle for blowing pressurized air toward the catcher, wherein, when a working bobbin stops being full of turns of a filament thereon and shifts to an empty bobbin, said rotary

cover rotates in the same direction and at the same rotation speed with the full bobbin to cover said bobbin and hold a cut end of the filament therein and the winding of the filament is shifted to the other empty bobbin.

(1) I nt. C12.

: 529日本分類

B 65 H 54/22 54 B 0 60 B 011 H 02 G 1/18

19日本国特許庁

許

特

①特許出願公告 昭51 - 34544

44公告 昭和51年(1976)9月27日

庁内整理番号 6818-351

公

報

発明の数 3

(全9頁)

図線状物の連続巻取装置

②特 顧 昭45-86786

顧 昭45(1970)10月3日 御出

729発 明 者 池上喜堆

西宮市枝川町12の79の108

包出 顧 人 株式会社神戸製鋼所

神戸市葺合区脇浜町1の36の1

Oft. 理 人 弁理士 安田敏雄

図面の簡単な説明

第1図は本発明巻取装置実施例の正面図、第2 図は同平面図、第3,4,5 図は線状物のポピン 切換動作の説明図、第6図は第1図 I-I線の拡 大断面図、第7,8図は同装置要部であるカバー15 部の作動説明の各側断面図である。

発明の詳細な説明

この発明は線状物の複数ポピンに対する連続高 速巻取において、その円滑で断線のない移動参取 り、特に巻取り切換え時における線たたきの問題 20 を解決して、製品品質の向上を企図したものに関 する。

各種線状物、線材の連続巻取装置として、一般 に2個以上(通常電線の巻取機では2個)のポピ ンを使用し、1個のポピンが満巻になつた時、そ 25 の巻取つている線状物を叩打して、とれがため連 の線状物を空ポピン側に巻き移して、連続巻取り を行なうのは、周知のことであるが、この場合特 に機構の重点は、高速で巻き取られてゆく線状物 が、ポピンからポピンに円滑に断線のおそれなく、 巻き移されることである。本出願人はこの点に開 30 め、数十メートルを巻き戻しするなど、製品ロス し、先に特願昭 4 5 - 6 4 0 9 号(特公昭 5 1 -9914号)として、従来型式と全く相違した方 式の巻取装置を提案した処であり、その方式の特 徴とする処は、逆2等辺3角形の上側の2個の頂 点を通る平行軸心に位置して平行に配置され、か 35 満足な結果が得られないのである。 つそれぞれが単独に前記逆2等辺3角形の下側の 頂点を通る軸心に向つて平行移動可能な2個の摺

2

動フレーム、同摺動フレームに1個宛取付けられ、 かつそれぞれに単独の回転駆動機構をもつ2個の ポピン、同ポピンの軸方向に沿つてトラバースす るトラバーサから成り、被状物を切換える時以前 は、巻取るべき空ポピンを駆動し、同ポピンの摺 動フレームを平行移動して、線状物を切断すると 同時に、同ポピンに巻取るように構成し、これに よつて円滑な巻き換え移動を企図したのであるが、 更に緑状物のこの種巻取りにさいし、それが如何 70 に高速で円滑に巻取られても、品質が良好でなく ては価値なく、特にプラスチック材料で被覆され ているような線状物の巻取りに当つては、ことに 生じる線たたきの問題を解決せれば、尚完全なも のとはいい難い。

即ち従来より被覆ポピンにおける1個のポピン が満巻になった時、その額状物を空ボビン側に巻 移して連続巻取りする時、線状物は通常切断され て、空ボビン側の爪により額状物の切断端を固定 し、空ポピン側への連続巻取りが行なわれるので あるが、線状物の切断された他方の端は、確実に 固定されることが少ない。このためその自由な切 断端は、満巻ポピンが完全に回転を停止するまで は、既に整然と巻取つた線状物の周面を叩打して これを傷け、不良線としたり、或いは空ポピン側 統巻取りに支障を来し、延いては断線の原因とも なつているのである。特に満巻側ポピンで生じる この種線たたきの現象は、直接製品の品質に影響 し、たたかれて不良線となつた部分を取り除くた や手直しの無駄ばかりでなく、省力化や自動化の 重要な今日、著しい問題点である。

このための対策として、満巻ポピンを機械的に プレーキ等で急停止する等の手段もとられるが、

本発明はこのような問題点を解決したものであ つて、満巻ポピン側における回転カバー装置の付

設によつて、満巻ポピンと同一速度で同一方向に 回転するカバー内で、満巻ポピン側の線状物の自 由端をたたくようにすることにより、従来の既巻 取線に対する線たたきを完全に防止し、併せてポ 切換時において、係止爪に線状物の切断端等が残 らないようにして、断線のおそれのないかつ円滑 な巻取移行を期したものである。

従つてその特徴とする処は、巻取ポピンを可回 動に軸支する1対のポピン軸の内、固定カバーを 10 エンドレスチエン24,25、ターンバツクル 有する一方のポピン軸上に、同ポピンと連動回転 可能であると共に同軸上を移動できる回転カバー を設け、ポピンの満巻停止時及び空ポピンの切換 時に、前記回転カバーをポピンと同一方向、同一 速度の回転の下に、ポピン―側を覆うように構成 15 これら線寄せ28,29は図示省略してあるが、 した点にあり、更には前配回転カバーに線状物係 止爪を進退自在に付設することにより、同カバー の移動時に係止爪を突出させて線状物離脱を容易 とするように構成した点にあり、更には前記係止 爪に臨んで憩状物吹き飛ばし用補助装置をポピン 20 7が、各自のシリンダ8,9のピストンロッド 固定カバー側に設けた点にある。

以下図示の実施例について本発明を詳述すると、 本発明では便宜上先に本出願人が出願に係る処の 特願昭45-6409号に係る巻取装置に実施し 置に応用することも可能なことは勿論である。第 1,2図において、1対のポピン1,2は、巻取 機台3に、逆2等辺3角形の相対応する2個の斜 辺を構成するように架設されたガイト軸4,5上 に、摺動自由に架設されて、同ガイド軸4・5に30昇するように、交互に作動させることによつて、 沿つて、逆2等辺3角形の頂点及びこれと反対の 2個の頂点に向つて、自由に摺動できるようにさ れた摺動フレーム6,7上に、澄脱自由兼回転自 由に軸架して取付けられている。

おける移動は、図例ではそれぞれフレーム6,7 の一部に、シリンダ8,9のピストンロット10, 11の一端が連結され、これによつて移動される ようにしてある。またポピン1,2に対する回転 は、正逆可能なモータ12,13を直結して駆動 40 が続行され、トラパーザ17の案内シープ18は するようにし、前記摺動フレーム6,7の上方に おいて、巻取機台3等を利用して、フレーム6, 7の各ポピン1,2に、線状物を整列に巻取らせ るための、トラバース装置が設置されるもので、

このトラバース装置は、正逆回転の可能なサーボ モータ14等によつて、正逆回転するトラバース 軸15、同軸15上に支持杆16を介して往復動 するように嵌合させるトラパーサ17、同トラバ ビン付属の線状物係止爪の改良によつて、線状物 5 一サ 1 7 に保持される線状物の案内シープ 1 8 2 、 これらの両側に位置する移動フレーム19,20 とから成り、左右1対のフレーム19,20は、 何れもガイド軸21,22上に摺動自由に嵌支さ れ、正逆可能なプレーキ付ギャードモータ23、 26,27等によつて、両ポピン1,2間を往復 できるようにしてある。

> また両ポピン1,2を支持する摺動フレーム6, 7には、練寄せ28,29がそれぞれ付設され、 例えばシリンダ等によつてポピン1,2の軸方向 に往復移動できるようにしてある。

上記構成による連続巻取作用を説明すると、1 対のポピン1,2は、それぞれの摺動フレーム6, 10,11の作動により、ピストンロッド10, 11の進出と共に、ガイド軸4,5に沿つて、何 れも逆2等辺3角形の頂点に向つて前進下降し、 またピストンロッド10,11の後退に伴なつて、 た場合を例示しておるが、勿論これ以外の巻取装 25 逆2 等辺3 角形の上側の 2 個の頂点方向に向つて、 それぞれ後退上昇できることは、機構上明らかで ある。勿論両ポピン1,2が同時に進行するもの ではなく、各フレーム6,7側において、一方の ポピンが前進下降する時、他方のポピンは後退上 各ポピン1,2は交互に、逆2等辺3角形の下側 の頂点、即ち第1図において巻取扱台3の最下位 である中心位置を交互に占めることになる。

第1図においては、フレーム7側のポピン2が 前記摺動フレーム6,7のガイド軸4,5上に 35 その巻取が満巻近くなつて、フレーム7の下降と 共に同行して、逆2等辺3角形の下側の頂点C位 置に下降してきた状態を示している。 この位置か ら説明すると、下降してC位置を占めたポピン2 においては、予定量に達するまで尚線状物の巻取 上方のA位置におるので、線状物は摺動フレーム 6に装架された点のポピン1の胴外周に接しつつ、 ポピン2側に巻取られており、このさい空ポピン 1は既に自己の回転を初めて、線状物の巻取線速

と同一の回転速度にまで上げられる。こうしてポ ピン2における巻取量が予定量に達すれば、適宜 これを告げる信号により、案内シープ18トラバ ーサ17を、ポピン1,2の一側に設けた回転カ パー30,31の側に、トラパース軸15を介し 5 できる外形大いさのものとされる。尚50は開放 て走行させて、第3,4図の状態になつた時、シ リンダ等で線寄せ29を走行させて、第5図のよ うに線状物を両ポピン1,2の中間に引き出し、 線状物は前記回転カバー30の爪32に確実に引 掛り、両ポピン1,2の中間で切断されることに 10 前記ペアリングポツクス47の周側一部に、フレ なり、これによつて切断一端は満巻ポピン2側に 自由端として残り、他端は係止爪32によつて空 ポピン1 側に引止められ、ポピン1の回転に伴な つて、新しくポピン1側に連続して巻取られてゆ

前記説明の内、回転カバー30,31、両カバ 一30,31の周側に設けられた線状物の引掛用 としての爪32,33は、本発明の特徴とする機 構内容をもつもので、その詳細は第1図I-I線、 即ち満巻ポピン2側におけるそれを切断して示し 20 カバー31の閉口面41を囲む傾斜線51の一部 た第6図以下によつて明らかである。

即ち第6図においては、 線状物の切換前で、 ポ ピン2が切換のためC位置に到達した状態を示し ているが、ポピン2は巻取つている線状物が巻取 号は同一部材を示している。図のようにポピン2 は左右両側1対のデイスク板34,35、フラン ジ押え板36・37によつて挟持され、前記デイ スク板34,35の各ポスにキー等を介して固設 されたポピン軸38,39の1対が、ポピン2の 30 57においても加圧エヤを用いることが便利であ フランジ中心に設けられた軸筒40に挿支される ことにより、ポピン2に回転を与える。即ち一方 のポピン軸39にチエンカップリング36を介し てモータ13が直結されるのである。

一体のシリンダ支え板68に付設されたシリンダ 67の、前記フレーム7に摺動自由に滑りキー 73を介して装設されたピストン71にスペーサ 72軸受69等を介して連結され、ジリンダ67 の作動によりポピン軸39を進退させ、ポピン2 40 停止機構等は、従来のものと同様であつても差支 の交換着脱を可能としている。

本発明に係る回転カバー31は、前記ポピン軸 39上において、滑りキー53を介して摺動自由 に外嵌され、且つフレーム~に対しても滑りキー

54によつて案内されるペアリングボックス47 に、その中心を保持され、ポピン2に向う側を、 ポピン2の自由に出入できる開口41を備えた管 筒状のカパー体であり、固定カパー42内に出入 型スライドペアリング、48は軸受を夫々示して

この回転カパー31の、前記ポピン軸38上に おいて、同軸38をガイドとして進退するには、 ーム7を利用して別設したシリンダ本体57のb ポート及びcポート間に位置する第2ピストン 60のロットをロット受金56ブラケット55を 介して連結し、前記シリンダ本体57内には第1 15 ピストン5 gが、aポート及びbポート間に位置 して進退自在に装設され、同ピストン59のロッ ト端にはストッパ65が付設されて、シリンダ本 体57のシリンダ後蓋58のダストシール抑え 64に保合されるようにしてある。またこの回転 には、固定カバー42に衡止される当金43を一 端に備え、かつ圧縮バネ45パネ抑え44滑りキ -46を介して軸方向に、進退自由に弾支揮設さ れた爪33が設けられ、同爪33は前記傾斜線 予定長に達しており、同図中第1,2図と同一符25 51に接支される形状大きさとし、更に固定カバ -42の周側面にはエヤダクト88を介して、前 記爪33に向つて加圧エヤを噴出するノズル89 が付設され、このエヤダクト88のdポートに加 圧エヤを送るようにしてあり、またシリンダ本体 り、52はポピン2の胴を示している。他方のポ ピン軸39は、前記のようにモーター13にチエ ンカップリング86を介して直結されると共に、 ポピンフランジに係合する駆動用ピン74同弾支 また一方のポピン軸38は、摺動フレーム7と 35 パネ75パネ抑え76を備え、フレーム7上軸受 78スペーサ79を介して可回動に軸架され、軸 端にはプレーキ板83を備え、更にキャリバー 84、モータプラケット87等の必要構造が設け られているが、とのポピン軸39の方の回動及び えなく、要するにポピン2 に対し回転を与え、又 停止させるものならば同効である。

> 今上記回転カバー31の動作について述べれば、 ポピン2における予定量の巻取終了による満巻と

同時に、第3・4・5 図で述べたように、線状物 が引寄せられて爪33に引掛ると共に、プレーキ 板83キヤリバー84等から成る―連の機械的プ レーキ装置と、モータープレーキを併用すること 図の切換前の状態において、シリンダ本体57に おいては、本体57に供給された加圧エヤによっ て、ピストン69が押し出されて、そのストッパ 65はシリンダ本体57のダストシール抑え64 によつて阻止されているが、この時シリンダ本体 10 ン60第1ピストン59が、図の向つて左右に押 57のbポートに加圧エヤを供給することにより、 第2ピストン60が図向つて右方に押出され、開 放型スライドペアリング50を備えた回転カバー 31は、ポピン軸1をガイドとして、軸方向にデ イスク板34のポス部側面まで移動され、第7図 15 ドとして、第7図の場合と反対方向に移動するの の状態になる。このことは線状物の満巻ポピン2 より空ポピン1への切換えに当り、前述したよう に常にトラパーサ17は第3図のように回転カバ 一側に位置しているので、第3,4,5図の説明 で述べたように切換えが行なわれ、両ポピン1 , 20 抗して押し出されることになる。 2の中間で線状物が切断される。満巻ポピン2個 の切断された線状物の自由端は、トラバーサ17 と略同一位置にあり、前記した回転カバー31の 移動により、この切断自由端は同カバー31内に 位置することになる。従つてプレーキが完全に利 25 みが外れて落下脱離し得るのである。 いて満巻ポピン2が停止するまでは、回転カバー 31はポピン2と何一速度で、同一方向に回転さ れるため、線状物の切断自由端は、この回転カバ 一31内に位置することにより、線状物の整然と を続出させたり、空ポピン1 側に巻取中の線状物 と交錯したり叩打したりする悪影響は、カバー 31の被覆阻止によって確実に阻止され、従って 満巻ポピン2における製品傷付きの絶無、更には 空ポピン1側における円滑な巻取続行を、完全に 35 のであるが、ポピン1が満巻となつて、これより 保証するのであり、これによつて略理想的な巻取 が行なわれるのである。

更に前記巻取連続動作において、線状物の切断 端を係止するための爪32,33は、自動切換を であるが、本発明では第6,7,8図でその詳細 を示したように、爪33について述べれば(ポピ ン1側の爪32でも全く同様である)、爪33の 裏面と回転カバー31の傾斜面51とは、パネ

45の弾支によつて常に確実に接触し、これによ り線状物が噛み込み易く、一旦噛み込んだ線状物 が外れにくくしてあるが、しかしこの反面、噛み 込んだ線状物が全く外れなくて、線状物の端末が により、満巻ポピン2を急停止させる。一方第25 爪33に残つていると、逆工程のポピン1からポ ピン2に線状物を切換える時に、きわめて不利と なり、切換効率が悪くなる。

> 本発明ではこれをなくすために、シリンダ本体 57のcポートに加圧エヤを供給し、第2ピスト 出されることにより、第1ピストン5gがシリン ダ本体57の後蓋58の側面に、第8図のように 停止される。とのことは同図で明かなように、こ れにより回転カバー31は、ポピン軸38をガイ で、これによりカバー31に付設されている爪 33は、先ずその一端の当金43が、ポピン固定 カパー42の内面に当り、パネ抑え44を介して 滑りキー46をガイドとし、爪33はパネ45に

従つて爪33の裏面と回転カバー31の傾斜線 51の外面とは、パネ45が押しつけられたスト ローク分だけ、間隙を生じることになり、これに よつて線状物の切断端等が残つていても、噛み込

. 更にまた本発明では、この切断端等の確実な除 去を促進するため、図のように固定カバー42の 周側面を利用し、エヤダクト88ノズル89を付 設してあるので、このダクト88にdポートより 巻取られた周面を叩打して、これを傷けて不良品 30 加圧エヤを供給し、ノズル89より噴射させれば、 爪33に残り易い線状物を確実に吹き飛ばし、こ れによつて事後の参取効果を更に向上させること が可能である。以上は図についてポピン2から、 ポピン 1 への線状物の自動切換の場合を述べたも 空ポピン2に巻き移す場合にも、全く同様に行な われることは勿論である。.

本発明は以上の通りであり、従来の各種巻取装 置に比し、特に線状物の円滑な切換移動と、その 円滑にする上において、きわめて重要なポイント 40 切断端の線たたきを解消する上において卓越した ものである。即ち本発明では、ポピンの線状物の 移行側に、回転及び進退自由な回転カバーを付設 し、これをポピンと同一方向、同一回転速度の下 に回転させることにより、満巻停止時において、

カバーでポピン切換側を覆うようにしたことによ つて、線状物切断端による線たたきを確実に防止 できるのであり、これによつて巻取製品の傷付き や不良品の発生をなくすことができ、常に品質均 一で優れたものを、巻き直しの手間やロスなく得 5 られるのである。かつ本発明の前記機構によれば、 これを利用して空巻側を切換時に移動させること によつて、線寄せ機構がなくても円滑な切換が可 能であるし、また回転カパーの軸方向移動を利用 し、その線状物引掛用の爪を自動的に進退させ、 **隙間を作らせて線状物を容易に外し、あるいは加** 圧エヤ吹き付けを可能として、線状物の離脱をよ り確実にでき、これによつて高速連続巻取の切換 も円滑に行なれる等の効果を新たに生じるのであ り、線状物の連続巻取装置として優れたものであ 15

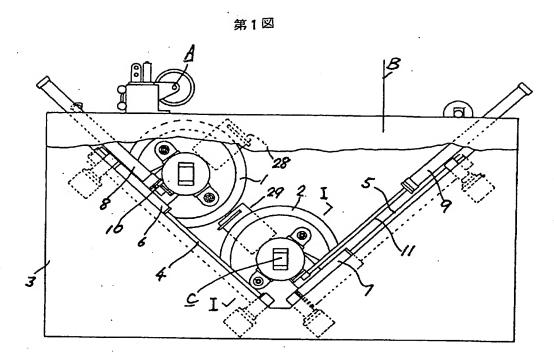
切特許請求の範囲

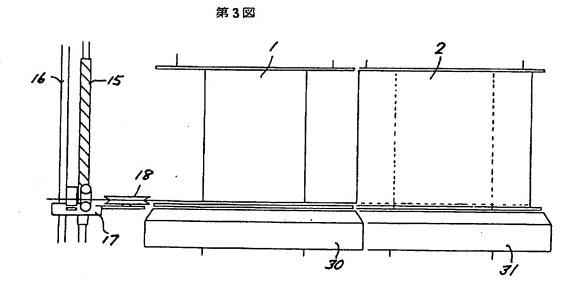
1 線状物巻取ポピンを可回動に軸支する1対の ポピンの軸の一方において、同ポピン軸上にポピ ンと連動回転すると共に同軸上を移動できる回転 20 により、ポピンの満巻停止時及び空ポピンの切換 カバーを設け、ポピンの満巻停止時及び空ポピン の切換時に、前記回転カバーをポピンと同一方向、 同一回転速度の下に、同ポピン一側を覆うように 構成することにより、線状物の切断端のカバー内 保持と切換移行を行なうようにしたことを特徴と 25 状物の連続巻取装置。 する線状物の連続巻取装置。

10

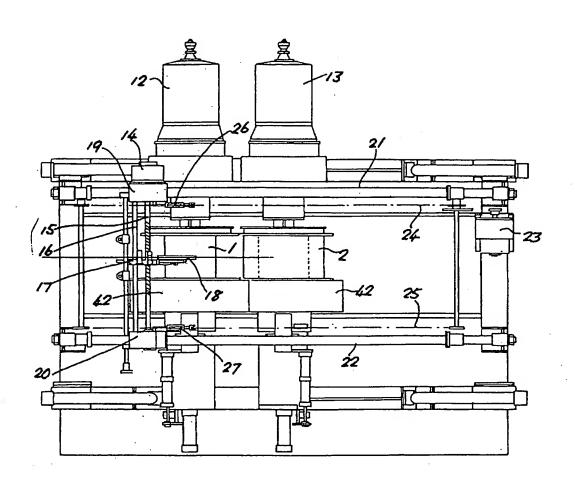
2 線状物巻取ポピンを可回動に軸支する1対の ポピンの軸の一方において、同ポピン軸上にポピ ンと連動回転すると共に同軸上を移動できる回転 カパーを設け、同カバーの周側一部に、同カバー の軸方向移動と連動して進退し、同カバーの端面 に接離できる線状物引掛用爪を設けることにより、 ポピンの満巻停止時及び空ポピンの切換時に、前 記回転カバーをポピンと同一方向、同一回転速度 の下に、同ポピン一側を覆うように構成すること により、線状物の切断端のカバー内保持と切換移 行を行なうようにしたことを特徴とする線状物の 連続卷取装置。

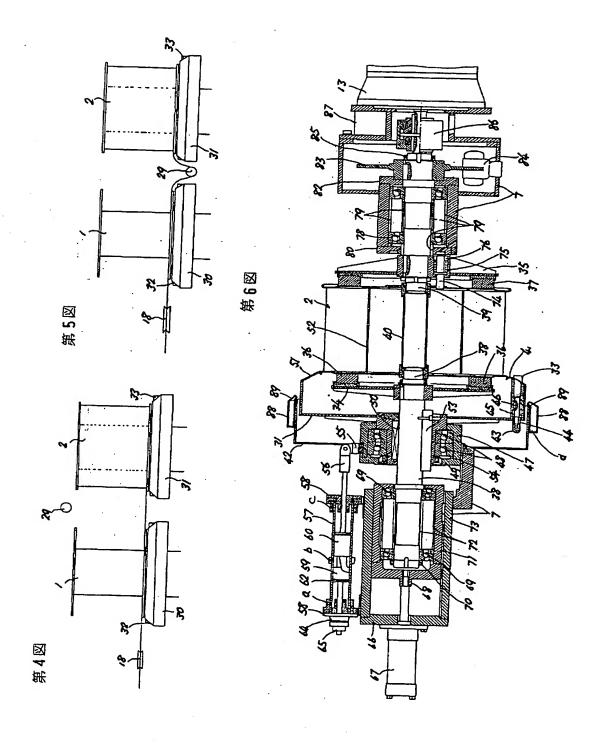
3 線状物巻取ポピンを可回動に軸支する1対の ポピンの軸の一方において、同ポピン軸上にポピ ンと連動回転すると共に同軸上を移動できる回転 カバーを設け、同カバーの周側一部に、同カバー の軸方向移動と連動して進退し、同カバーの端面 に接離できる線状物引掛用爪を設けると共に、同 爪に臨んで加圧エヤ噴出用ノズルを別設すること 時に、前記回転カバーをポピンと同一方向、同一 回転速度の下に、同ポピン一側を覆うように構成 することにより、線状物切断端のカバー内保持と 切換移行を行なうようにしたことを特徴とする線

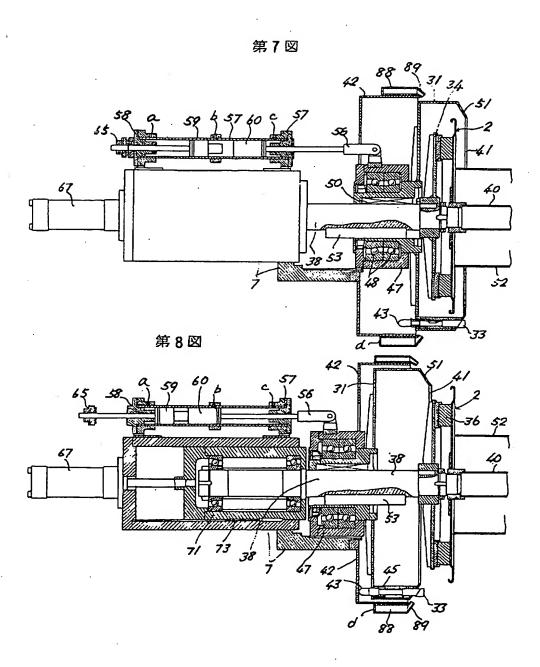




第2図--







This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.